

製品名: アンジオポエチン 2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe83990**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.59mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200
分子量	Calculated MW: 57 kDa ; Observed MW: 50 kDa

抗原情報

遺伝子名	Angiopoietin 2
別名	AGPT 2; Agpt2; ANG2; Angiopoietin 2a; Angiopoietin 2B; Angiopoietin2; ANGPT 2; Angpt2; Tie2 ligand;;Angiopoietin 2
遺伝子 ID	
SwissProt ID	O15123
免疫原	ヒトアンジオポエチン 2 由来の合成ペプチド

背景

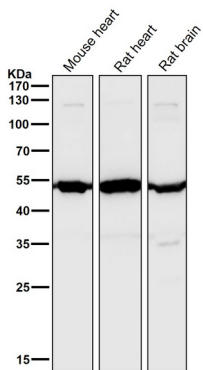
TEK/TIE2 に結合し、ANGPT1 結合部位を競合して ANGPT1 シグナル伝達を調節する。ANGPT1 が存在しない状況下では、TEK/TIE2 のチロシンリン酸化を誘導することができる。VEGF などの血管新生誘導因子が存在しない状況下では、ANGPT2 を介した細胞-マトリックス間接着の緩和が内皮細胞のアポトーシスを誘導し、結果として血管退縮を引き起こす可能性がある。VEGF と共存することで、ANGPT2 は内皮細胞の遊走と増殖を促進し、許容的な血管新生シグナルとして機能する可能性がある。

研究分野

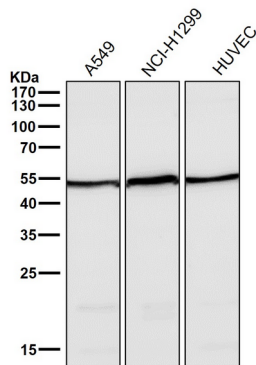
-

画像データ

すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。



すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。



HUVEC 細胞溶解物中のアンジオポエチン 2 発現のウェスタン プロット分析。

